



保土ヶ谷支援学校 グランドデザイン 〈令和6年度〉

学校教育目標

- 児童生徒の主体的な行動を大切にし、協働的な学びと個別最適な学びの中で自立と社会参加の基礎となる力を育てる。
- センター的機能による地域への支援を充実させるとともに、地域と協働した取組を広げ、共生社会の実現を目指す。
- 校内外の危機等に対し、学校関係者が安全で安心できる仕組みを構築する。

保土ヶ谷支援学校が目指す姿

目指す児童生徒像

- 主体的に行動する児童生徒
- 自分や他者を大事にし、協力して活動する児童生徒
- 持てる力を最大限発揮し、社会の中でたくましく生きる児童生徒



目指す学校像

- 子どもも大人もやりがいを持ち、力を発揮できる学校
- 地域と協働し相互に発展できる学校
- 安全・安心を第一に考える学校



目指す教師像

- 人権を尊重する教師
- 互いに支え合い、高め合う教師
- 何事にもやりがいを持って取り組む教師



令和6年度取組内容

自立と社会参加の基礎となる力の育成

- 「各学部段階で身につけたい力」を踏まえた授業の実践
- アセスメントに基づいた授業づくり
- 進路支援に向けた教員の知識の向上

地域や関係機関との連携・協力

- 進路に関する情報発信の充実
- 交流学习や地域との協働活動
- 特別支援教育のノウハウ発信
- 地域を支援する人材の育成

安全で安心できる学校づくり

- 交通安全や防災教育、人権教育といった「いのちを守る」教育の実践
- 計画的な教育環境の改善と安全の確保
- 教職員の人権意識の向上

働き方改革 ～児童生徒と向き合う時間を確保～

- 業務を見直し、効率化を進める